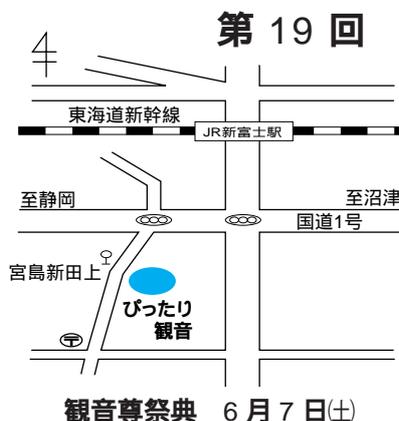


みや じま しん でん かん のん たい こ

宮島新田観音太鼓



観音尊祭典 6月7日(土)

今回で「富士の民俗芸能」は終了します。次回からは、広報広聴課が撮影した写真を皆さんに紹介する「富士市写真館」が始まります。お楽しみに。

「宮島新田観音太鼓」は、平成三年、地区の有志が集まり、青年の健全育成と新興住宅地の連帯感を育てることを目的に産声を上げました。

区内に古くから伝わる話で、馬のように天を駆けめぐり、悪魔をやっつけるといふ馬頭観音(別名びったり観音)を守護神とし、会の名前はそこから名づけられました。

現在、会員は大人が十九人、子どもは小学生から高校生までが二十一人います。平成十二年から大人の部に女性加わり、会の幅が広がりました。だれかに強制されるのではなく、太鼓をたたきたいと思う区内の人たちが集まっています。

演奏する曲は、会員による手づくりです。曲の創作だけでなく、地区の協力を得ながら、運営も会員の手により行われています。

主な活動は、観音尊祭典、田子浦みなど祭り、富士まつりなどです。そのほか、区内の行事への積極的な参加や地域の福祉施設への慰問活動など、地区に密着した活動が行われています。

この会は、平成十二年に創立十周年を迎えました。

創立当初、太鼓がそろわず、タイヤや竹、ペーパードラムをたいて練習していました。今では、大中小合わせて十七台の太鼓があります。

現在、練習日は毎週水曜です。子ども部と大人の部に分かれ、地区の公会堂でそれぞれ一時間程度行っています。

公会堂が住宅地の中にあるため、毛布を太鼓の下に置くなどして、練習の音が迷惑にならないよう工夫しています。しかし、そうすると太鼓の音や感触が実際とは違ってくるため、練習に差し支わりが出てくることもあり、今の悩みの種になっています。

しかし、会員からは「太鼓をたたいていると楽しい」という声を聞きます。これからも区民に親しまれる太鼓として頑張っていきたいですね。



宮島新田区会長
森下 正司 さん(宮島)

こちら編集室

春の訪れとともに、花粉症の季節がやってきました。

我が家では、母が毎年目のかゆみや鼻水などに悩んでいます。「大変そう」と思うもの、しょせん人ごと。本当のつらさは本人にはわかりません。

ですが、ことしは何だかいや～な予感。目がしょぼしょぼして、鼻がむずむず。今は気配を感じているだけですが、いつ自分も花粉症の仲間入りをするかと不安な日々。花粉症の人もそうでない人も、一緒に予防対策しましょうね。

人口	242,566人 (前月比+2)
男	120,722人 (-23)
女	121,844人 (+25)
世帯	83,981世帯 (+66) 2月1日現在
編集・発行	富士市総務部広報広聴課
〒417-8601	静岡県富士市永田町1-100
☎51-0123(代)	☎51-1456

